

【プログラムⅢ-①】

テーマ 親の立場の理解

プログラム 子どもの気持ちと親の気持ち

ねらい 子どもに注意をする親の気持ちを話し合ったり、親子の会話をロールプレイングで体験したりすることで、親子がお互いに理解し合える会話について考える。

<展開(60分)>

時間	展開(進行マニュアル)	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・たましいの握手 3 「3つの約束」の確認	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします </div>
展開 (1) 20分	4 親によく注意されることと、その理由について考える。 ① ラベルに記入する  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 親によく注意されることはどんなことですか。また、それはどうしてでしょうか。 </div> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 意見を、時間、食事、言葉遣いなどのカテゴリーで分けましょう。皆さんのお父さんやお母さんは、どんな気持ちで皆さんに注意をしているのでしょうか。 </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ1(ラベルワーク)> 親によく注意されることは何ですか。その理由は何でしょう。 </div> <p>例：「〇時までには必ず帰ってきなさい。」 「だらだらしていないで勉強しなさい。」 「言葉遣いに気をつけなさい。」など</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を、時間、食事、言葉遣いなどのカテゴリーに分けた後で、話し合う。 その時の親の気持ちを想像させ、親の立場を理解させる。
展開 (2) 20分	5 注意や忠告をする際に、親子がお互いに理解し合える会話について考える。 ① ワーク2に記入し、ロールプレイングを行う  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 注意された時に、親子がお互いに理解し合える会話について考えましょう。場面設定については、事前にペアで話し合って決めてください。 </div> ② グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 他のペアの方のロールプレイングを見て、どうでしたか。これまでの自分を振り返り、親への対応について考えてみましょう。 </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ2(ロールプレイング)> 親が自分に〇〇〇〇のことで注意してきた時。 </div> <p>例：「頭ごなしに怒らないで話を聞いてよ。」 「いつも心配してくれて、ありがとう。」 「早めに連絡しなくてごめん。」など</p> <ul style="list-style-type: none"> 注意する内容については、事前にペアで話し合って決める。 グループ内で、子ども役と親役に分かれてロールプレイをする。 ロールプレイ時の互いの立場について話し合い、親子が理解し合える効果的な会話について考える。
まとめ 10分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 最後に、「おやおやじゅくへようこそ」という絵本を読みます。親子でお互いの思いを理解し合えるようになれるといいですね。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 絵本「おやおやじゅくへようこそ」(浜田桂子作、ポプラ社)の読み聞かせを聞き、子どもを思う親の気持ちに気付かせる。 今日の学習の感想を書かせる。

『Ⅲ-①』子どもの気持ちと親の気持ち』ワークシート

ワーク1 (ラベルワーク)

<課題> 親によく注意れることは何ですか。またその理由は何でしょう。

メモ

ワーク2 (ロールプレイング)

<場面設定> 親が自分に〇〇〇〇のことで注意してきた時。

<親役> (例) 「最近、寝てばかりで、ぜんぜん勉強してないじゃないの。」



<子ども役>

<これまでの自分を振り返り、親への対応について考えてみましょう。>

<今日の学習の感想>

【プログラムⅢ-②】

テーマ 家族の一員として

プログラム 家事・育児は誰の仕事ですか

ねらい 家事や育児についての考え方や分担の仕方について意見を交換し、家族の一員としての協力の在り方について考える。

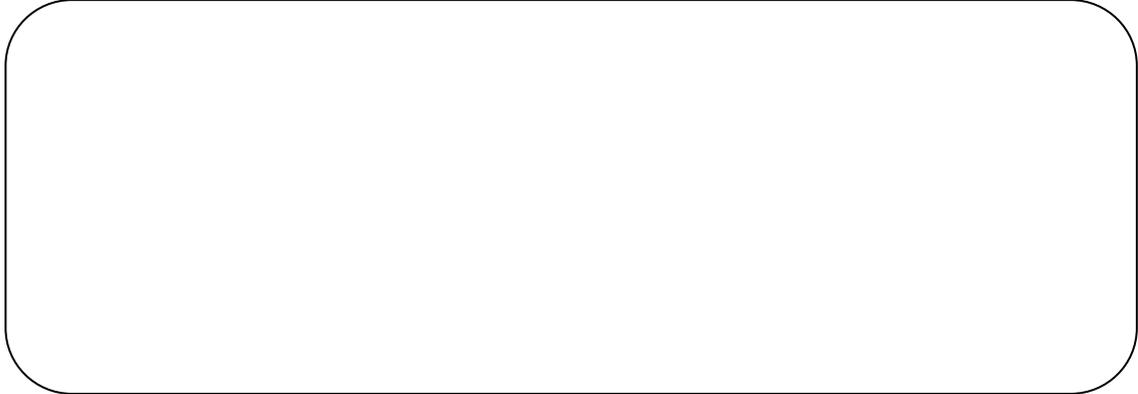
<展 開 (60分) >

時間	展 開 (進行マニュアル)	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・キャッチ 3 「3つの約束」の確認	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします </div>
展開 (1) 20分	4 どんな家事や育児があるか、また、家事や育児の分担の仕方について考える。 ① ワーク1に記入する  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 皆さんの家庭には、どのような家事や育児がありますか。また、それは誰の役割ですか。 </div> ② グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 皆さんのご家庭には、具体的にどんな家事や育児があるでしょう。グループで紹介し、皆さんで共有しましょう。 </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ1 (ラベルワーク)> それぞれの家庭には、どんな家事や育児がありますか。また、その分担について考えてみましょう。 </div> <p>例：「お風呂掃除」「トイレ掃除」 「お風呂の準備」「料理」 「妹の勉強の世話」など</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの家庭によって色々な仕事や役割があることに気付く。
展開 (2) 20分	5 「家事や育児は〇〇の仕事」という考え方について考える。 ① ワーク2に記入する  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 「家事や育児は〇〇の仕事」という考え方についてどう思いますか。将来家庭をもった時の家事や育児の分担の仕方について考えてみましょう。 </div> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 家族の一員として、助け合う役割分担について考えてみましょう。 </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ2 (ラベルワーク)> 「家事や育児は〇〇の仕事」という考え方についてどう思いますか。また、将来家庭をもった時の家事や育児の分担について考えてみましょう。 </div> <p>例：「家事や育児の役割に偏りがある。」 「家族を思いやり、助けてやりたい。」 「感謝の気持ちを持ちたい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として思いやりの心を持ち、家事や育児の分担の仕方について振り返ろう。
まとめ 10分	6 まとめ ・読み聞かせ ・ワークシートへの記入  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 最後に、「おんぶはこりごり」という絵本を読みます。 将来家庭をもった時、夫婦で協力して家事や育児ができるといいですね。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 絵本「おんぶはこりごり」(アンソニー・ブラウン作、平凡社)の読み聞かせを聞き夫婦で協力して育児をすることの大切さに気付かせる。 家族の一員として助け合う役割分担についてワークシートへ記入させる。

『【Ⅲ-②】家事・育児は誰の仕事ですか』ワークシート

ワーク1 (ラベルワーク)

<課題>それぞれの家庭には、どんな家事や育児がありますか。また、その分担について考えてみましょう。

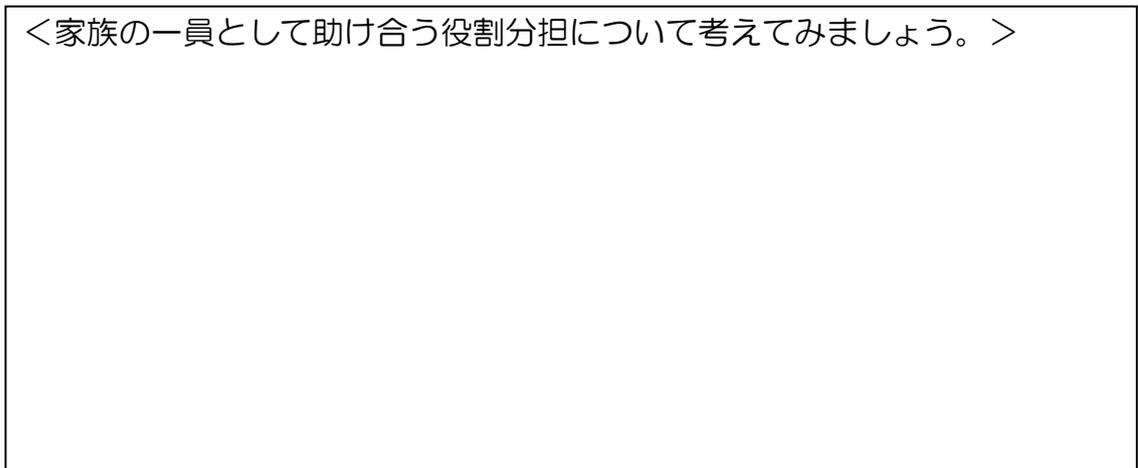


ワーク2 (ラベルワーク)

<課題>「家事や育児は〇〇の仕事」という考え方についてどう思いますか。将来家庭をもった時の家事や育児の分担の仕方について考えてみましょう。



<家族の一員として助け合う役割分担について考えてみましょう。>



【プログラムⅢ-③】

テーマ 大人としての自立

プログラム 働くことについて考えよう

ねらい 自分が将来就きたい職業や働くことの目的や意義についての話し合いを通して、自立した大人について考える。

<展開(60分)>

時間	展開(進行マニュアル)	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・聖徳太子ゲーム 3 「3つの約束」の確認	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします </div>
展開 (1) 20分	4 どんな職業があって、その職業にはどんな資質や能力が必要か考える。 ① ラベルに記入する <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">  皆さんの身の回りには、どのような職業があるかを考えてみましょう。 </div> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 皆さんから出された職業をカテゴリーごとに分けましょう。そして、そのカテゴリーごとにどんな資質や能力が必要か考えてみましょう。  </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ1(ラベルワーク)> 自分の身の回りにはどんな職業があってその職業にはどんな資質や能力が必要でしょうか。 </div> <p>例：「保育士」「警察官」「弁護士」「農業」「商業」「アパレル」「畜産業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 働くために必要な資質や能力とは何かを考える。 今の自分を振り返り、何が足りないか、これから何を身に付けなければいけないかを考える。 <p>カテゴリー例：何・誰を対象にする職業か？ 資格が必要な職業か？など</p>
展開 (2) 20分	5 働くことの目的や意義について考える。 ① ラベルに記入する <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">  人はなぜ働くのでしょうか。自分のため、人のため、社会のためなど様々な観点で考えてみましょう。 </div> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> あなたの将来の夢や仕事について考えてみましょう。  </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ2(ラベルワーク)> 人はなぜ働くのでしょうか。自分のため、人のため、社会のためなど様々な観点で考えてみましょう。 </div> <p>例：「自分や家族が生きていくため」「地域全体で支え合うため」「自分の生きがいができる」など</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を、自分、家族、社会、世界などのカテゴリーに分けて、働くことの目的や意義を視覚的につかませる。 将来の夢や仕事について考えさせる。
まとめ 10分	6 まとめ ・ブックトーク ・今日の学習の感想 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">  最後に、「みやざきわくわくワーク」と情報誌を紹介します。直接、様々な職業の方から話を聞いたり、情報誌を読んだりしてくわしく調べてみましょう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 「みやざきわくわくワーク」(ヤングJOBサポートみやざき)のブックトークを聞き、大人になって働くことの喜びに気付かせる。 今日の学習の感想を書かせる。

『【Ⅲ-③】働くことについて考えよう』ワークシート

ワーク1 (ラベルワーク)

〈課題〉皆さんの身の回りには、どのような職業がありますか。またその職業には、どのような資質や能力が必要ですか。

メモ

ワーク2 (ラベルワーク)

〈課題〉人はなぜ働くのでしょうか。自分のため、人のため、社会のためなど様々な観点で考えてみましょう。

メモ

〈自分のため〉

〈人のため〉

〈社会のため〉

〈あなたの将来の夢や仕事について考えてみましょう。〉

〈今日の学習の感想〉

【プログラムⅢ-④】

テーマ 地域の一員として

プログラム 地域活動に参加しよう

ねらい 地域の方々がやっている活動や、自分達にできそうな活動について話し合い、自分達の住む地域を見つめ直す。

<展 開 (60分) >

時間	展 開 (進行マニュアル)	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・早口ことば 3 「3つの約束」の確認	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> < 3つの約束 > ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします </div>
展開 (1) 20分	4 地域の方々がやっている地域活動について考える。 ① ラベルに記入する <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">  地域の方々がどのような地域活動を行っているか考えてみましょう。自分がお世話になった方や、学校や地域でボランティアなどの地域活動している方はいませんか。 </div> ② グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 同じ地区に住んでいる友達同士のグループに分かれて、地域の地図にラベルを貼っていきましょう。地域の方々の活動を皆さんに紹介しましょう。  </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ1 (地域活動マップ作成)> 地域の方々がやっている活動について考えましょう。 </div> 例：「公園や道路の清掃や花植えをしている」「登下校の見守り活動をしている」「公民館で読み聞かせをしている」など <ul style="list-style-type: none"> グルーピングする際、同じ地区または近隣の地区の子ども同士になるようにする。 イベントやボランティアなどの地域活動に参加した経験がある場合は、その状況を具体的に話させる。
展開 (2) 20分	5 地域をさらによりよいものにしていくために自分達にできることはないか考える。 ① ラベルに記入する <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">  地域のために自分達にできることを考えましょう。自分だけでなく、友達や地域の方と一緒にできることも考えてみましょう。 </div> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> あなたの住むまちをどんなまちにしたいか考えてみましょう。  </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ2 (ラベルワーク)> 地域活動をさらによりよいものにしていくために自分達にできることを考えましょう。 </div> 例：「敬老会に参加する。」「地域の人と出会ったら挨拶をする。」「休日にごみ拾いをする。」など <ul style="list-style-type: none"> すぐに実行できることから友達同士で取り決めを行う。 どんなまちにしていきたいか話し合う。
まとめ 10分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">  最後に、「おいそがし、こいそがし」という絵本を読みます。地域活動をさらによりよいものにしていくために、できることからやっていきましょう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 絵本「おいそがし、こいそがし」(ユンクピョン作、イラスト、平凡社)の読み聞かせを聞き、地域活動をさらによりよいものにしていくための実践への意欲をもたせる。 今日の学習の感想を書かせる。

『【Ⅲ-④】地域活動に参加しよう』ワークシート

ワーク1 (地域活動マップ作成)

<課題> 地域の方々がどのような地域活動を行っていますか。地域の地図にラベルを貼り、皆さんに紹介しましょう。

メモ

ワーク2 (ラベルワーク)

<課題> 地域をさらによりよいものにしていくために自分達にできることを考えましょう。

メモ

<あなたの住むまちをどのようなまちにしたいですか。>

<今日の学習の感想>

【プログラムⅢ-⑤】

テーマ 子どもの気持ちを受け止める

プログラム 悩みを一緒に考える

ねらい 子どもがいやな思いをして、いつもと様子が違うとき、親としてどう受け止め対応するか考える。

<展 開 (60分) >

時間	展 開 (進行マニュアル)	展開のポイント
導 入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・運命の人を探せゲーム (仲間探し) 3 「3つの約束」の確認	・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします
展 開 (1) 15分	4 子どもがいやな思いをしたとき、親は子どものどんな様子で気付くか、考える。 ① ラベルに記入する  親は、子どものどんな様子で、子どもがいやな思いをしたことに気付くか、ラベルに記入しましょう。 ② ラベルワークを行う  ラベルに書いたことを一人ずつ説明しながら、用紙に貼り付けていきましょう。同じものがあったら近くに貼り付けて、分類しましょう。 ③ グループで話し合う  どんな様子で気付くか、感じたことをグループで話し合いましょう。後で、グループの代表の人に発表してもらいます。 ④ 全体で発表する	<ワークショップ1 (ラベルワーク) > 親は、子どものどんな様子で、子どもがいやな思いをしたことに気付くでしょう。 例: 「けがをしている」 「しゃべらない」 「食欲がない」 ・いやな思いにも、いろいろな状況があることを考えさせる。 ・自分が親になったときの気持ちを想像させて考えさせる。
展 開 (2) 25分	5 いやな思いをした子どもに対する、よりよい言葉かけを考える。 ① 親と子どもの役に分かれて、ロールプレイングを行う  様子のおかしい子ども役と、それに気づいた親の役に分かれて、子どもへのよりよい言葉かけについて、考えてみましょう。 ② グループで話し合う ③ 全体で発表する  他のペアのロールプレイングを見てどうでしたか。親の気持ち、子どもの気持ちを考えてみましょう。	<ワークショップ2 (ロールプレイング) > 子どもがけがをして、家に帰ってきたときの親子の会話 ・ロールプレイングのテーマは、ワーク1で出たものから選んでもよい。 例: 子どもの食欲がないとき 子どもがしゃべらないとき など ・気付いたときの親の気持ちを想像させ、親の立場を理解させる。
ま と め 10分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想  最後に「たったひとつの命だから」という本を紹介します。命の大切さや親子の絆について、考えながら聞いてください。	・「たったひとつの命だから」(ワンライフプロジェクト 地湧社)の読み聞かせをし、命の大切さや、親子の絆について考えさせる。 ・今日の学習の感想を書かせる。

『Ⅲ-⑤』 悩みを一緒に考える』ワークシート

ワーク1 (ラベルワーク)

＜課題＞親は、子どものどんな様子で、いやな思いをしたことに気付くでしょう。

メモ

ワーク2 (ロールプレイング)

＜場面設定＞子どもがけがをして、家に帰ってきたとき

＜今日の学習の感想＞